

## 安全、安心

副校長 椎名 由美子

初秋とは思えない日差しがつける日がまだまだ続いています。本校では10月14日の運動発表会に向け、校庭に出て練習しています。子供たちも教員も日に日に気合いが入っていくことが感じられます。

さて、先月の話になりますが、9月9日(土)に区の一斉防災訓練がありました。午前中は、学校公開と引渡し訓練を実施しました。午後は、練馬区震災総合訓練が行われました。練馬区危機管理課の方と拠点要員(近隣在住の区の職員の方々)を中心に避難拠点の設置訓練など、夕方まで様々な訓練が行われていました。

大きな災害があった場合、児童が学校にいる時間であれば、私たち教員は児童の安全を第一に、最後の一人まで引き渡しを行います。その一方で、体育館には200台程の簡易ベッドが並べられるなど、避難所が開設され、災害の大きさによっては、学校はしばらく避難生活の場となります。

副校長として着任した昨年度、初めて訓練に参加させていただいて、学校の敷地には様々な避難拠点のための設備があることを知りました。校舎の北側には、校舎内の水道が止まっても地下の水道管と直結できる設備があり、マンホールを開けて専用の管を差し込むと蛇口からきれいな水が出るのを見た時は大変驚きました。また体育館の北側に10個並んでいるマンホールは災害用のトイレになります。

災害時には不特定多数の方が利用する学校ですが、平常時は児童が学ぶ場であるので、誰でもいつでも入れてしまうことは安全上心配です。池田小の事件をきっかけに、学校では不審者の侵入に対応する訓練をするようになりましたが、やはり一番の策は侵入させないことだと感じます。そのためには出入口が常時施錠すればいい、となりますが、学校は送迎の保護者や業者、地域や他校からの来訪者など、毎日何十人もの来校者があるため、鍵をかけることは、つまり誰が開錠するのかを考えなければならず、常時施錠は難しい面がありました。

しかし、昨年も中学校に不審者が侵入する事件もあり、練馬区では電子錠(オートロックと遠隔操作の開錠)の設置を進めています。本校も設置に向けて準備がすすんでおり、今後、来校の際の注意等ご案内をさせていただくことになるかと思えます。

児童が、安全な環境の中で安心して学べるように、保護者や地域の皆様にもお知恵をいただきながら考えていけたらと思います。

## 10月の行事予定

1日(日) 都民の日	23日(月) 教育実習始 石中職場体験(25日まで)
2日(月) 全校朝会	24日(火) 図書集会 たんけんラリー(4年)
3日(火) 朝読書 移動教室説明会(5年)	読書旬間始
4日(水) 委員会活動	25日(水) たんけんラリー(5年) クラブ活動
6日(金) 安全指導日 転入合同説明会	26日(木) 4時間授業(校区别協議会のため)
9日(月) 祝スポーツの日	27日(金) たてわり班遊び
10日(火) 運動発表会紹介集会	30日(月) 全校朝会
11日(水) 4時間授業(教育会研究会のため)	31日(火) 朝読書
12日(木) 運動発表会(児童鑑賞日)	5時間授業(体育実技研修会のため)
13日(金) 運動発表会会場準備	
14日(土) 運動発表会(保護者鑑賞日)	【11月】
16日(月) 全校朝会	1日(水) 委員会活動
17日(火) 朝読書	ふれあい月間始
18日(水) クラブ活動 運動発表会予備日	2日(木) 保健集会 安全指導日
19日(木) 遠足(1・2年)	遠足予備日(1・2年)
20日(金) 避難訓練	





## 運動発表会

10月14日(土)に運動発表会を行います。当日に向けて、校庭で子供たちの元気な声が聞こえてきました。どの学年も一生懸命練習に取り組んでいます。ぜひ、頑張っている子供たちに励ましの言葉をかけていただけたらと思います。詳細は、別途お知らせいたしますのでご確認ください。

【運動発表会担当 青井 美幸】



## 読書の秋・・・読書旬間が始まります。



10月24日から読書旬間が始まります。図書委員会のブックトークと読み聞かせの発表から始まり、本を読む機会が多くなります。読書旬間期間中は朝読書の他、石神井図書館と連携した読書にちなんだイベントが各学年行われます。また、本を楽しく読むための企画を図書委員会がたくさん考えました。「読書ミッション」はいつも読まないジャンルに挑戦しながら、与えられたミッションをクリアしていきます。「クラス対抗読書マラソン」では、クラスで読んだ総ページ数を競います。図書委員会が発表の中で行う本の総選挙にも注目してください。

読書旬間を機に、子供たちがたくさん本と出会えることを願っています。

【図書担当 村上 光紗】

## 150周年へ向けて！

本校は来年度150周年を迎えます。練馬区の小学校で1番歴史のある小学校です。よって、150周年を祝うために、いろいろな計画を立てている途中です。その1つの取り組みとして、代表委員会の4年生～6年生を中心に動き始めています。10月2日(月)の朝会で代表委員会が呼びかけますので、どのようなことをするのかお子様との話題の1つにしてください。

【特別活動担当 大山 聖絵】



## 体力テストの結果について

今年の6月に行った体力テストの結果を本日個別に配付いたしました。すべての種目の記録があればA～Eの5段階で総合評価が記されています。全国や東京都の平均値と近ければC判定となります。この評価を運動のできる、できないの判断材料にするのではなく、種目別に現在のお子様の運動能力に極端なバランスの崩れがないか確認する手段の一つとしてご活用ください。

石神井小全体としての結果は、今年も、全国、東京都の平均をやや下回る結果となりました。低学年は主に「ソフトボール投げ」、「握力」、中学年は、主に「長座体前屈」、「ソフトボール投げ」、高学年は主に「握力」、「20mシャトルラン」が低い傾向にありました。子供は遊びを通して体の使い方を自然に習得していきますが、現在では外遊びをする子としない子の二極化が見られ、体力テストの結果にもその影響が見られるようです。学校では、どの子も楽しみながら運動する経験ができるように、10月、11月はなわ跳びやマラソンなどで体力向上を目指します。また、普段の体育の学習の中でその動きを取り入れたり、新しい動きができる遊びを提案したりするなど、少しでも取り組めることを発信していきます。ご家庭でも、家族みんなで体を動かす時間をぜひ取り入れていただき、運動に親しみをもてる体験ができれば、と思います。

【体力テスト担当 磯部 智穂】